

平成 26 年 3 月 5 日（水）に開催した第 7 回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

1 協議事項

(1) 平成 26 年度 事業方針（案）について

(2) 平成 26 年度 年度計画（案）について

ア 内容説明

事務局より、現行の中期計画の完遂を目指し、教育内容の充実、学生支援の充実、研究の推進等の平成 26 年度に重点的に実施する事業方針案、及び今年度の実績を踏まえて作成した平成 26 年度の年度計画案の主な事項が説明された。

イ 主な意見

- ・平成 26 年度計画については、中期目標・計画に沿って、最終年の平成 27 年度にそれを完遂できるような内容にしてほしい。

(3) 平成 26 年度 収支予算（案）について

ア 内容説明

事務局より、4 月からの消費税増税、運営費交付金の削減等を考慮し、本年度の執行状況を踏まえて作成した平成 26 年度収支予算案の、重点項目及び新規事業等の説明がされた。

イ 主な意見

- ・予算作成に当たっては、制度上なくても一定期間ごとの執行見込みを把握すること等が必要と考える。
- ・経営努力による剰余金と、未執行による剰余金では性質が異なり、後者は他の必要な事業に再配分するなどの戦略的な予算執行が必要である。

2 報告事項

(1) 学部の教育課程改正について

事務局より、前回の経営審議会での意見を踏まえ、理事長により文言や区分の修正等が行われた箇所について、報告がされた。

(2) 副学長等役職教員の選任について

事務局より、平成 26 年 3 月末をもって現役職教員が任期満了となることから、新たに平成 26 年度からの役職教員が選任されたことについて、報告がされた。

(3) 大学事務局の組織改正について

事務局より、大学が一体となって地域連携の促進を図るために地域連携室を設置すること、学生の就学及び生活などの支援に係る事務を一体的に行うため教務・学生室を設置すること、学生募集に係る業務を担当する入試室を設置することについて、報告がされた。

(4) 平成 25 年度末卒業生の就職内定状況について

事務局より、平成 26 年 3 月卒業予定者の就職内定率が、最終的には例年と同様になることが予想されるが、まだ未内定者がいるため、引き続き指導していくこと等が報告された。また、文部科学省から就職率の算出方法に係る取扱通知が出たが、これまで本学が行っていた算出方法と同じであり、本学では変化はないことが補足された。

以上により議事を終了